

LMcorsa Race Report

Super GT 2018 Rd,1 OKAYAMA GT



● H.YOSHIMOTO
● R.MIYATA



● M.NITTA
● Y.NAKAYAMA

4月07日 - 08日 | 天候:曇りのち雨 | コース:岡山国際サーキット | 路面:ハーフウェット



● H.YOSHIMOTO
● R.MIYATA

First Day Summary

公式練習後にセットアップの改善を進めるが
路面温度の低さによってポテンシャルを引き出すことができず
予選Q1で24番手と苦戦し、明日の決勝レースで追い上げを図る

First Day

2018年シーズンも8戦のシリーズ戦で競われるAUTOBACS SUPER GT。今シーズンは、唯一の海外戦となるタイラウンドが6月末の開催となり、夏場の過酷な1000kmレースだった鈴鹿ラウンドが走行距離を短縮させて5月に実施されるなど、例年に対して開催スケジュールが大幅に変更された。

SUPER GTに参戦して5年目のシーズンとなるLMcorsaは、これまで飯田章選手と吉本大樹選手のコンビで戦ってきたが、飯田選手は監督としてチームに携わることになり、新たに2年連続でFIA-F4選手権を制した若干18歳の宮田莉朋選手を起用することになった。

チームは、2月にセパンインターナショナルサーキットでシェイクダウンを実施、3月に開催された2回の公式テストでSYNTIUM LMcorsa RC F GT3のセットアップを進めて、開幕戦へと挑むことになった。

第1戦の岡山国際サーキットラウンドは、4月7日(土)と8日(日)の二日間のスケジュールが組まれていて、まずは公式練習が7日の午前9時から1時間45分間に渡り実施された。天気予報では曇りだったが、岡山国際サーキットは明け方に降雨があり、8時過ぎに実施されたFIA-F4の予選では一部の路面でウエットパッチが残っていて、その状況はSUPER GTの公式練習が開始されても変わらなかった。



First Day

SYNTIUM LMcorsa RC F GT3 は、まず第一ドライバーの吉本選手が乗り込み、持ち込んだマシンコンディションを確認する。一回のピットインを挟み、公式練習開始から最初の赤旗による中断が発生した約 30 分間を走行。タイムは、結果的にセッションベストとなる 1 分 27 秒 064 をマークする。他車のトラブルによる 2 回目の中断を挟み、公式練習開始から約 1 時間後にデビュー戦となる宮田選手に交代。宮田選手は約 10 周の連続周回を実施し、最後は降雨によりウエットコンディションとなったため、ピットにマシンを戻した。結果として吉本選手が記録した 1 分 27 秒 064 により、公式練習は 13 番手という順位で終わることになった。



<予選>

公式練習の終了から 4 時間のインターバルを経て行なわれた予選 Q1。SYNTIUM LMcorsa RC F GT3 は、公式練習やその後のサーキットサファリなどの状態を見てセットアップを変更して挑む。ステアリングを握った吉本選手は、2 周のウォームアップを行ない 3 周目にはラップタイムを 1 分 31 秒台に入れて、5 周目には 1 分 27 秒 653 とタイムアップを果たし、翌周には 1 分 27 秒 001 をマーク。続けてタイムアタックを実施するが、さらにタイムを更新することができず 8 周目にピットイン。結果として 24 番手となり、予選 Q2 への進出を果たせなかった。想像以上の苦戦を強いられた予選となったが、明日の決勝レースはピットワークやドライバーのコンビネーションにより、宮田選手のデビュー戦を少しでも上位でフィニッシュできるように最善を尽くす。



Team Comment



Director : 飯田 章

今週末は非常に気温が低かったので、RC F GT3 の本来のポテンシャルを引き出せないでいます。公式練習では 13 番手でしたがタイヤのグリップ力が発揮できていない状況だったので、予選でも苦戦することが想定されていました。予選までの間にセットアップの修正を行ないましたが、それでも課題は多く 24 位になってしまいました。厳しい状態で決勝レースに挑みますが、少しでも前を追い上げるレースをしたいです。



Driver : 吉本 大樹

公式練習の最初は、まだ明け方の降雨によってウエットパッチが残った状態でした。そこで、持ち込んだタイヤの比較テストをして、その後にセットアップを進めました。公式練習後は、グリップ力を引き出すようにマシンの調整をしました。しかし、マシンの状況は改善せず 24 番手となってしまいました。公式テストを含めて色々なデータは取れているので、バランスの再調整を行なって決勝レースに挑みたいと思います。



Driver : 宮田 莉朋

公式練習は最後の 30 分で乗ったのですが、途中で雨が降ってきたので、確認程度の走行しかできませんでした。マシンの状態としては、グリップを引き出せていないようで、タイムに繋がっていません。今日は、全体的に手応えの掴めない難しい一日でした。明日の決勝レースも厳しいですが、吉本選手とのコンビネーションとチームワークで、少しでも上位に入っていきたいです。



 **H.YOSHIMOTO**

 **R.MIYATA**



First Day Summary

チームの初陣を地元で迎えるK-tunes Racing LM corsa
中山選手が10番手で予選Q1を突破し
ベテラン新田選手が、ウエットの予選Q2で6位を獲得

First Day

国内のモータースポーツシリーズで随一の人気と観客動員数を誇っている AUTOBACS SUPER GT の開幕戦が岡山国際サーキットで開催されている。

今季から新規チームとして GT300 クラスに参戦する「K-tunes Racing LM corsa」。K-tunes Racing は、岡山トヨペットが母体となっているレーシングチームで、初陣がいきなりのホームコースとなる。チームとしてタッグを組むのは、5シーズンに渡って激戦の SUPER GT を戦ってきた LM corsa で、こちらも販売店の大阪トヨペットグループが母体となっている。

マシンは、昨シーズンのシリーズランキングで3位を獲得した JMS P.MU LMcorsa RC F GT3 で、ドライバーは GT300 クラスの最多優勝記録を誇る新田守男選手と、昨年も同マシンのステアリングを握っていた中山雄一選手がコンビを組む。昨シーズンに総監督を務めた影山正彦氏も監督として引き続きチームの指揮を執るなど、チーム体制は申し分ない。

SUPER GT の 2018 年シーズンは例年と同様の 8 戦のシリーズ戦で競われるが、唯一の海外戦となるタイラウンドが 6 月末の開催となり、夏場の過酷な 1000km レースだった鈴鹿ラウンドが走行距離を短縮させて 5 月に実施されるなど、例年に対して開催スケジュールが大幅に変更された。そして、開幕戦の岡山国際サーキットラウンドは、4 月 7 日（土）と 8 日（日）の二日間のスケジュールが組まれていて、まずは公式練習が 7 日の午前 9 時から 1 時間 45 分間に渡り実施された。天気



予報では曇りだったが、岡山国際サーキットは明け方に降雨があり、8 時過ぎに実施された FIA-F4 の予選では一部がウエット路面となっていて、その状況は SUPER GT の公式練習が開始されても変わらなかった。

まず K-tunes RC F GT3 に乗り込んだのは、公式テストでマシンを仕上げてきた新田選手。数回のピットインを挟み 18 周を走行し、マシンのコンディションやタイヤの比較などを行なう。



First Day

公式練習が折り返しを迎えると、トラブル車両の発生でコースには赤旗が提示されてセッションは中断する。このタイミングで新田選手から中山選手にドライバーチェンジ。公式テストはスケジュールの都合により欠席となったため、本格的にステアリングを握るのは今シーズン初となった。それでも昨年の1年間を戦い抜いたマシンということで、計測3周目にはベストタイムとなる1分26秒830をマークする。結果的に、このタイムが公式練習のベストで、順位は11番手となった。

<予選>

公式練習の終了から4時間のインターバルを経て行なわれた予選Q1。K-tunes RC F GT3には中山選手が乗り込む。コースインから4周に渡って十分にタイヤに熱を加え、タイムアタックを開始する。5周目には1分26秒043をマークし、翌周はクールダウン。再び7周目にアタックを行なうが1分26秒192とタイム更新は果たせなかった。それでも10番手のタイムとなり予選Q1を見事に突破した。

GT500クラスの予選Q1を挟んで実施された予選Q2。スタート直前にコース上空を再び雨雲が覆い、ところどころで雨が降り出す。雨量はすぐに増し、予選Q2はウエット宣言が出された。新田選手がステアリングを握るK-tunes RC F GT3はレインタイヤを履いてコースイン。2週のウォームアップを行ない3周目に1分36秒543をマークし、4周目には1分35秒236までタイムアップする。翌周のアタックを続けたが、先行車に追いつきすぎたことやマシンの挙動が乱れたために、ここでアタックを止めてピットに戻る。K-tunes RC F GT3は予選Q2でも速さみせて6位を獲得した。

明日の決勝レースは岡山トヨペットの大応援団が駆け付けるので、チームとしての初陣で好結果を残したいとチームの士気は上がっている。



Team Comment



Director : 影山 正彦

シーズン前の公式テストでは、ライバル勢がどのような状態で走っているのか分からないのでチームがどのポジションにいるのか明確ではありませんでした。ですが、予選でQ1を突破して6位を獲得して力関係がはっきりしました。結果にはホッとしています。今シーズンは、新たなチーム体制となったので、確実な結果が出せて良かったと思います。岡山国際サーキットはRC F GT3にとって得意とは言えないコースですが、チームの地元となるので攻めのレースをして、予選順位よりも上でゴールしたいです。



Driver : 新田 守男

3月の公式テストでは、全セッションでステアリングを握ってきたので、まず公式練習では持ち込みのセットアップを確かめるために乗り込みました。状態は悪くなかったと思います。予選Q1を中山選手が突破してくれて、Q2に臨みました。直前に雨が降り出したのでウエットタイヤでコースインして、想定したよりもタイヤの内圧が上がらなかったのと、アタックラップで前走車に詰まって若干のロスはありました。それでも、明日は6番手からスタートできるので、チームと私にとっての初陣としては良い内容だったと思います。



Driver : 中山 雄一

公式テストはスケジュールの都合で乗ることができず、今日の公式練習で久しぶりにRC F GT3に乗りました。セットアップの完成度は高く、最初から煮詰まっているのが分かりました。予選はQ1を担当して、入念にタイヤに熱を入れながらコンディションを確認してアタックに入り、タイムとしては少し詰められる部分でしたが、全体的にはまとめられました。ライバル勢は速かったですが、自分の役割は果たせたと思っています。明日は、6番手から上位を狙っていきたいです。



ktunes
RACING

 **M.NITTA**

 **Y.NAKAYAMA**